

17年度評価項目案(特別養護老人ホーム)

	評価項目	社・援項目	標準項目	標準項目確認のポイント
4 サ ー ビ ス の 実 施	(1)サービス実施計画に基づいて自立生活が営めるよう支援している		サービス実施計画に基づいて支援を行っている 利用者の特性に応じて、コミュニケーションのとり方を工夫している 利用者の一人ひとりがその人らしく生活できるよう支援を行っている 利用者の支援は関係職員が連携をとって行っている	評価項目のねらい:この項目では、立案されたサービス実施計画に盛り込まれている内容が、利用者の自立生活を支援する日常の場面でどのように実践され、工夫されているかを評価します。
	(2)栄養のバランスを考慮した上でおいしい食事を出している		利用者の状態に応じた食事提供(治療食やきざみ食等)や介助(見守り・声かけを含む)を行っている 利用者の状態や嗜好に応じて献立を工夫している 利用者が選択できる食事を提供している 食事時間は利用者の希望に応じて、一定の時間内で延長やずらすことができる 食器や食堂の環境整備により、食事を楽しむ工夫をしている	評価項目のねらい:この項目では、栄養面や衛生面での配慮を含めた施設で提供する食事(嗜好品を含む)に関する取り組み内容を評価します。
	(3)入浴に関しては、利用者の状態や意思を反映した支援を行っている		利用者の状態に応じた入浴方法や介助(見守り・声かけを含む)を行っている 健康上の理由等で入浴できなかった利用者には代替方法をとっている 入浴の誘導は利用者には負担がかからないように考慮し、行っている 浴室や脱衣室は清潔で、快適な状態(温度・換気等)にしている	評価項目のねらい:この項目では利用者の状態・希望に応じた入浴形態が考慮されているかどうかを評価します。また、衛生面や安全面にも配慮がなされているかについても評価します。
	(4)排泄に関しては、利用者の状態や意思を反映した支援を行っている		排泄介助が必要な利用者に対して、それぞれに応じた誘導や排泄介助の支援をしている トイレやポータブルの使用による座位での排泄に向けて取り組んでいる トイレは使いやすさや安全面を考慮し、それに合わせた環境整備をしている トイレは衛生面に配慮し、清潔にしている	評価項目のねらい:この項目では、利用者の状態に応じた排泄介助、衛生面や安全面に対する配慮がなされているかどうかを評価します。
	(5)移動、整容の支援に関しては、利用者の状態や意思を反映した支援を行っている		利用者の状態にあった移動方法を検討している 衣服は生活の場面に依りて着替えている 服装や整容は利用者の好みを反映した支援を行っている	評価項目のねらい:この項目では、利用者の状態に応じた移動、整容の支援を利用者の意向を尊重した上で行っているかどうかを評価します。
	(6)利用者の健康を維持するための支援を行っている		健康状態に関して、利用者の相談に応じ、また必要に応じて利用者や家族に説明をしている 服薬管理は誤りがないようチェック体制の強化などしくみを整えている 利用者ひとり一人にあった口腔ケアを検討・実施している 利用者の体調変化(発作等の急変を含む)に速やかに対応できる体制を整えている 日頃から医療機関と連携を図り、必要時には措置を講じている	評価項目のねらい:この項目では、利用者個別状況に応じて健康を維持する支援を実施しているかどうかを評価します。また、発作等の急変時の対応体制についても評価します。

17年度評価項目案(特別養護老人ホーム)

	評価項目	社・援項目	標準項目	標準項目確認のポイント
4 サ ー ビ ス の 実 施	(7)利用者の身体機能など状況に応じた機能訓練等を行っている		施設サービス計画に基づいて、利用者一人ひとりに応じたプログラムを作成し、評価・見直しをしている 機能訓練のプログラムに日常生活の場でいかすことができる視点を入れている 機能訓練指導員等の指導のもと、日常生活の中でも機能訓練を実施している 介護職員等が日々の介護のなかで気がついたことを機能訓練指導員に返している 福祉用具は定期的に使用状況の確認をし、必要に応じて対処をしている	評価項目のねらい:この項目では、利用者個別の身体状況等に応じた機能訓練・回復訓練のメニューが適切に立案され、実施した実績について内容の評価が行われ、必要に応じて変更等が加えられているかどうかを評価します。
	(8)利用者の自主性を尊重し、施設での生活が楽しく快適で、自立的な日常生活となるような取り組みをしている		クラブ活動や行事、イベントなど日常生活の中で楽しめる機会を設けている 娯楽・買い物などの外出の機会を確保している 施設での生活は、他人への迷惑や健康面に影響を及ぼさない範囲で、原則として自由である 利用者が落ちつける雰囲気づくりをしている 居室や食堂などの共用スペースは汚れたら随時清掃を行う体制があり、安全性や快適性に留意している	評価項目のねらい:この項目では、利用者の主体性、自律性を尊重しながら、施設での日常生活を楽しく快適なものにするための事業者の取り組みを評価します。
	(9)施設と家族との交流・連携を図っている		家族などの外出・外泊・面会時間は可能な限り希望に応じている 家族が参加できる施設の行事を実施している 利用者と家族がゆっくり話せるように配慮している 利用者の日常の様子や施設の現況を定期的に家族に知らせている 年に数回家族などと懇談する機会を設けている	評価項目のねらい:この項目では、日常生活や行事等を通じて、いかに親密に施設と家族との関係を構築しているか、相互の意思疎通を良くし、信頼関係を築くための取り組みを実施しているかについて評価します。
	(10)地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げる取り組みを行っている	4(1) 利用者と地域とのかかわりを大切にしている	地域の情報を収集し、利用者の状況に応じて提供している 利用者が職員以外の人と交流できる機会を確保している 利用者が地域のさまざまな資源を利用する機会を設けている	評価項目のねらい:この項目では、事業所が、利用者が地域の一員として生活する機会をどのように創りだし、利用者を支援しているのかを評価します。

サービス分析シート(17年度目案 訪問介護)

	評価項目	社・援項目	標準項目	標準項目確認のポイント
4 サ ー ビ ス の 実 施	(1)サービス実施計画に基づいて自立生活が営めるよう支援している		<p>サービス実施計画に基づいて支援を行っている</p> <p>利用者の特性に応じて、コミュニケーションのとり方を工夫している</p> <p>利用者の一人ひとりがその人らしく生活できるよう支援を行っている</p>	評価項目のねらい:この項目では、立案されたサービス実施計画に盛り込まれている内容が、利用者の自立生活を支援する日常の場面でのよう実践され、工夫されているかを評価します。
	(2)サービス提供の時間が利用者や家族にとって安心・快適なものとなるようにしている		<p>訪問介護員に対し、利用者や家族への接遇・マナーを徹底している</p> <p>訪問した際、利用者の状態や環境に変化がないか確認をし、必要に応じて関係機関と連携をとるなどの対応をしている</p> <p>利用者から援助内容に関して新たな要望や変更があった場合の対応方法を明確にしている</p> <p>利用者の体調に変化があった際(発作への対応を含む)には、速やかに医療機関及び関係者へ連絡がとれるよう体制を整えている</p> <p>金銭の扱いに関して事業者として基本的な方針を明確にしている</p> <p>鍵の扱いに関して事業者として基本的な方針を明確にしている</p>	評価項目のねらい:この項目では、利用者や家族の日常生活を尊重しながら、サービス提供時を快適なものにするための事業者の取り組みを評価します。
	(3)安定的で継続的なサービスを提供している		<p>訪問介護員のコーディネートは利用者の特性やサービスの内容などを配慮して行っている</p> <p>訪問介護員が訪問できなくなった場合に代替要員を確保している</p> <p>訪問介護員が変更になる場合、利用者に事前に連絡をいれている</p> <p>訪問介護員が替わるときには前任者が同行するなど、引継ぎをしている</p> <p>訪問介護員の変更後、利用者負担がないか確認をしている</p>	評価項目のねらい:この項目では利用者や家族の負担にならないよう、サービスを継続して提供するためにどのような取り組みがされているかを評価します。
	(4)地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げる取り組みを行っている	4(1) 利用者と地域とのかかわりを大切にしている	<p>地域の情報を収集し、利用者の状況に応じて提供している</p> <p>利用者が地域のさまざまな資源を利用する機会を設けている</p>	評価項目のねらい:この項目では、事業所が、利用者が地域の一員として生活する機会をどのように創りだし、利用者を支援しているのかを評価します。